

市長会見の項目（概要）

と き：平成 30 年 5 月 24 日(木) 14 : 00～

ところ：市政記者室

■麻しん（はしか）・風しんの予防接種について

<担当：健康局保健所感染症対策課（感染症グループ） 電話：06-6647-0950> 【フリップあり】

- ◆アジアやヨーロッパなど、海外で麻しん（はしか）の発生が多く、また、沖縄に持ち込まれた麻しん感染症に端を発した麻しんの感染はまだ終息していないので、市民の皆さんには十分注意をしていただきたい。
- ◆麻しんの感染を予防するためには、麻しん単独ワクチンか麻しん風しん混合（MR）ワクチンを接種するしか方法はない。
- ◆法で定められた麻しん風しん予防接種は、1歳児と小学校入学前1年間の計2回、無料で接種できる機会があるので、これらに当てはまるお子さまをお持ちのご家庭の保護者の方は、是非ともお子さまにMRワクチンを接種していただきたい。
- ◆なお、国の方でMRワクチンの予防接種率を95%以上にする目標を掲げているが、大阪市では、特に小学校入学前1年間の予防接種率が92.6%と目標を下回っている。MRワクチンは2回予防接種をしないと、強固な免疫ができないので、是非ともお子さまにMRワクチンを接種していただきたい。

- ◆特に、妊娠中の女性が麻しんに感染すると、流産や早産を起こす可能性がある。また、風しんは妊娠初期の女性が感染すると、風しんウイルスが胎児に感染し、先天性風しん症候群と総称される、難聴、心疾患、白内障などを引き起こす可能性があるので、流行地域への旅行を避けるなど、十分注意をしていただきたい。
- ◆本市では、妊娠を希望する女性とその配偶者の方もしくは妊婦の配偶者を対象に、風しんに対する十分な抗体があるかどうか確認する風しん抗体検査を各区保健福祉センターで月2回、無料で実施している。
- ◆この風しん抗体検査で、風しんの抗体が少ないと判明した方で、風しん単独ワクチンもしくはMRワクチンを接種される場合は、その費用の助成を行っている。
- ◆助成方法は、医療機関でワクチンを接種し、一旦、費用をお支払いいただいた後、領収書など必要書類を大阪市保健所へ郵送により申請していただくと、後日、ご指定の口座に費用を返還するようになっている。
- ◆特に、MRワクチンであれば、今、流行している麻しんの感染予防にもなる。
- ◆制度の対象となる方はこの助成制度を利用していただき、ぜひ予防接種を受けていただきたい。